

お知らせ

雪に強い 住宅づくり!

低利資金の貸付

村では本年も「克雪住宅づくり資金」の貸付けを行います。ことし克雪住宅の新築や改良を

される方、又は計画されている方は役場総務課にご相談ください。この貸付制度は、雪に強い村づくりの一つとして、四年前から村独自の制度としてスタートしたもので、克雪住宅の新築又は改良に要する資金の融資と利子補給を行います。同住宅の普及促進を図っています。

なお、これまでに十三件の利用があり、克雪住宅づくりに一役買っています。

貸付対象者
次の要件のいずれにも該当する人です。

- ・山古志村に住所を有する人、または建築後その住宅に居住する見込みの人

献血にご協力ください

4月15日(水)

- 村民会館 午前10時～12時
- 山古志村農協本所 午後1時～3時

犬の注射・登録

狂犬病予防注射は年1回です。飼い犬には必ず受けさせてください。

期日	会場	時間
4月23日(木)	虫亀集落センター前	午前10:15～10:45
	東竹沢教員住宅前	午前11:00～11:20
	村民会館前	午前11:30～12:00
	民俗資料館前	午後1:10～1:30
	種子原農産物処理加工場前	午後1:50～2:10

- 料金(注射、登録) …4,950円
- 持参するもの……印鑑、愛犬手帳
- 生後91日目以上の犬は必ず登録し、放し飼いはしないでください。



村民スキー大会
申告タイムレースで競う

人口の動き
■人口 2,908人(△8) 男 1,463・女 1,445 ■世帯数 790(±0)
■2月中のうごき □出生0 □死亡5 □転入1 □転出4

・貸付金の償還能力があり、村税等を完納している人

貸付対象住宅
克雪住宅の新築又は改良で、融雪式、落雪式、高床式、耐雪式、この四方式のいずれか、または組み合わせて建築される住宅。

貸付額は最高二百万円
利子補給は五年間
貸付額は、対象工事費の八〇%以内で五〇万円以上二〇〇万円まで貸付けいたします(貸付額は十万円単位)。

・利率 年4・25%

なお、五年間は村で二・二五%の利子補給をしますので実質三%です。

・償還期間 10年以内
申込み方法
希望者は、克雪住宅づくり資金貸付基準適格証交付申請書に図面などの関係書類を添えて申し込みください。

この申請書に基づき、審査を行い貸付を決定し適格証を交付します。

春の 火災予防運動

「毎日が 火の元警報 発令中」
をスローガンに県下一斉に春の火

災害防運動が行われます。春先は空気が乾燥する日も多くなり、火の元、火の取り扱いは十分注意しましょう。毎年、野焼きなどで消防車が出動するケースが多く見られますので特に注意してください。

普及所から 農改コーナー

野菜づくり 春の作業

暖冬だったとはいえ、ようやく雪も解け暖かくなってきました。畑の状態はいかがでしょうか。天気が良くなるのをみはからって畑に出かけましょう。

今回は春作業の主なものを紹介します。

- ・葉菜類の種まき
- ・葉菜類の発芽適温は15～20℃です。
- ・石灰の散布は30坪当たり10kg程度を目安に散布、混和します。
- ・発芽を揃えるコツ
- ①まき溝の底は何回もクワを動かして平らにします。
- ②畑の表面は土を細く砕いておくようにします。
- ・は種の量はやや多めにし、後に葉先がくっつかない程度に間引きします。

・途中の管理としては、時々畦間を中耕し追肥してやるともちがった生育になるでしょう。

果菜類―購入苗を健苗に育てる―鉢からとり出し一回り大きい鉢に植えかえましょう。

・暖かい所に置き夜はビニール等で保温しましょう。

・かん水を入念に行い葉色が悪ければ液肥をやり10～15日着成します。

・花が咲いた頃が植え付け適期です。

ジャガイモの植え付け

- ・種いもの条件
- ①病気がないこと
- ②2芽くらい芽の出たもの
- ③男しやくなら収穫後4.5～5.5ヶ月経ったもの。
- ・種いもの大きさ
- 30～40gが適当です。鶏卵ぐらいの大きさなら二つ切りにします。
- ・植え付け
- 13cmくらいの溝をつくり堆肥と肥料を入れて3cmくらい土を入れてからいもの切断面を下向きにして植え付けます。
- ・草丈が15～20cmくらいになった時とその後半月たった頃土寄せをして、いもが出ないようにしましょう。

(山古志農業改良普及所)



山古志村長 酒井省吾

就任の あいさつ

潤いと 活力ある 村づくりをめざして

強い春の日光が燦々と降り注ぐなかで、黒い土の下から、木々の梢から、生命の躍動が伝わって来ます。村民の皆様方には益々ご健勝で季節感あふれる、こんなにすばらしい山古志の春を迎えられた事を、心からおよろこび申し上げます。

このたびの任期満了に伴う村長選挙におきまして、皆様方の力強いご支援と温いご厚情を賜り当選の榮に浴し、四たび村政の重責を担うことになりました。このうえは、もとより微力ではありますが、これまで十二年間の貴重な経験をふまえ、皆様から寄せられた信頼と期待にこたえるため、初心を忘れず「自然と調和した潤いと活力ある

村づくり」のために全力を傾注する所存でございますので、なお一層のご協力とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株や土地、ゴルフ場、マンションなどで空前の札束が乱れ飛んだバブル経済の崩壊とともに、景気の先行きに陰りが生じるいっぽうで、リゾート開発や地域活性化を食いつきに、企業と政治家の醜聞が続出するなど、国民の政治に対する不信感がつのつています。いま国政のうえで、景気対策と政治改革は最も重要な課題と言わねばなりません。

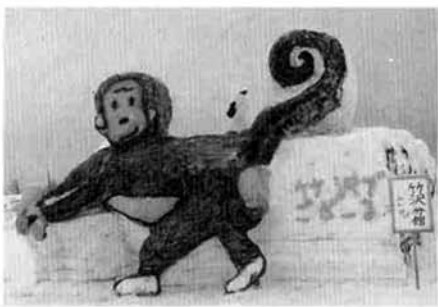
国や県に村の財源の多くを依存している本村では、これまでのように引き続き行政の簡素化、効率化と、健全な財政運営に努めなければならぬことは申し上げるまでもありませんが、二十一世紀に向けて山古志村の将来に、明るい展望の開ける施策の実現をはからなければなりません。

伝統の牛の角突きや錦鯉、雪を資源とするなど、ふる里指向やゆとりの時代をむかえ、都市と農村世代間交流を推進するため、交流会館や高齢者生産活動施設などを含め、村の特性を活かし人情味豊かな自然休養地「四季の里古志」の事業も着々と進んでいます。

最近の通勤圏の拡大や、広域経済活動の進展に対応して冬でも安心して生活出来る交通体系、国道、基幹村道の整備も急を要する問題であります。快適な生活環境づくりに向けて本年度から、総事業費四十億円にも及ぶ簡易水道事業が着手されることになりました。そして次には生活排水処理という大きな事業も控えています。

村民の皆さんが明るく健康で安心して暮らせるために、保健、医療、福祉の対策の一環として「過疎高齢者生活福祉センター」も計画いたしております。

村づくりは人づくり、生涯学習基盤整備や人づくり助成、修学資金の貸付、古志の火まつりや産業まつりなどイベント開催、ブナ林等環境資源の保護、村民総合体育館の建設を図るなど、心豊かで郷土愛に根ざす教育文化の振興にも真剣に取り組みます。村民皆様方のご協力を切にお願いを申し上げます。ごあいさつといたします。



▲火まつり賞を受賞

もに日本一、大きいさいの神の点火、花火の打上げと火まつりはクライマックスを迎えました。しかし、前日からの雨がたたり、残念ながら炎の迫力は今一となってしまいました。

古志の火まつり

雨のなか

一、〇〇〇人が集う

「燃えよ炎、人・愛・心」をメインテーマとして、さる三月一日(日)第四回古志の火まつりが山古志村農村運動広場で開催されました。

みんなの願いもむなく、当日は小雨のぱらつくあいにくの天気となってしまう。公民館分館単位の雪像づくりも子供たちが中心に、昼前には完成し、まつりを盛り上げてくれました。

十二時四十分、種彦原小学校の鼓笛隊パレードを皮切りに開会が

宣言され、約一、〇〇〇人が集いました。

恒例の雪中宝さがしをはじめ、ドラゴンボール大会、雪上車の試乗、スベリ台、ステージショーなどを楽しんでいました。いっぽう、ふれあい広場では、飲物焼そばやおでん、特産品などに注文が殺到し、売上げも前回は上回りました。そして薄暗くなった午後五時三十分、伝統行事の十二講行事や天神ばやしが行われ、闘牛大鼓と



山古志村長選挙

酒井村長 再選される

任期満了に伴う山古志村長選挙が三月十七日告示され、新人の高野哲四氏(61歳)と現職で四選を目指す酒井省吾氏(64歳)が立候補の届出をいたしました。両候補者ともに、昨年の九月に出馬を表明して

以来、村民の支持を求め、二年ぶりの投票となりました。身近な選挙だけに関心も高く、雪まじりの悪天候にもかかわらず九七・二五%という高い投票率となりました。開票の結果、八四票の差で酒井省吾氏が当選し、翌二十三日選挙管理委員会から当選証書が交付されました。



当日の有権者数二、二九二人
投票者数 二、二三二人
投票率 九七・二五%
投票の内訳
酒井 省吾 一、一五四票
高野 哲四 一、〇七〇票
無効投票 八票

議会 第一回定例会 村 4年度予算など 32議案を可決承認

平成四年第一回定例会は、三月三日から六日までの会期で開かれました。

四年度当初予算や水道事業給水条例などの三十二議案が慎重審議され、いずれも原案どおり可決されました。

このほか村長の施政方針や精神障害者医療費助成制度などに一般質問が行われました。

可決された主な内容は次のとおりです。

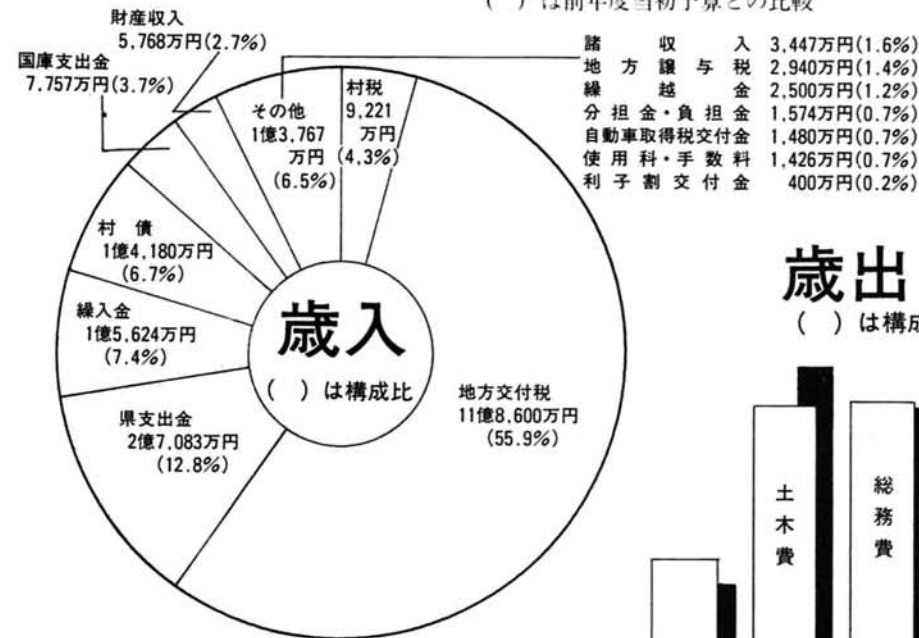
- ▼特別職の給与条例の一部改正
- ▼教育長の給与及び勤務時間条例の一部改正
- 特別職、教育長の給与等を四月から改正するものです。三役、教育長、村議会議員の報酬・給料月額を、次のとおり平均四・三五%引き上げました。
- 村長 六四八、〇〇〇円
- 助役 五一七、〇〇〇円
- 収入役 五〇〇、〇〇〇円
- 教育長 四三六、〇〇〇円
- 議長 二二九、〇〇〇円
- 副議長 一六八、〇〇〇円
- ▼山古志村固定資産評価審査委員会委員の任命同意
- 固定資産評価審査委員会委員に松田正夫さんの再任が同意されました。
- その他
- ▼山古志村固定資産評価審査委員会委員の任命同意
- 国民健康保険会計は保険給付費などに二、一〇〇万円を追加補正しました。
- ▼一般会計(補正第四号)
- 年度末にあたり過不足の調整などを行い、歳入歳出とも一四〇万円増額し、総額二二億〇、一四〇万円となりました。
- ▼特別会計
- 国民健康保険会計は保険給付費などに二、一〇〇万円を追加補正しました。
- ▼山古志村固定資産評価審査委員会委員の任命同意
- 固定資産評価審査委員会委員に松田正夫さんの再任が同意されました。
- (当初予算は四一五ページに掲載)

今年の一一般会計は二億二〇〇〇万円

ことしの村の仕事を決める当初予算は、一一般会計、簡易水道など特別会計を合わせて二億二、五八二万円を計上しました。
このうち一一般会計は、二億二、〇〇〇万円、国家予算の税収不足など厳しい財政環境の中、積極的に編成し、前年度より二億〇、七〇〇万円、一〇・八％増額しました。

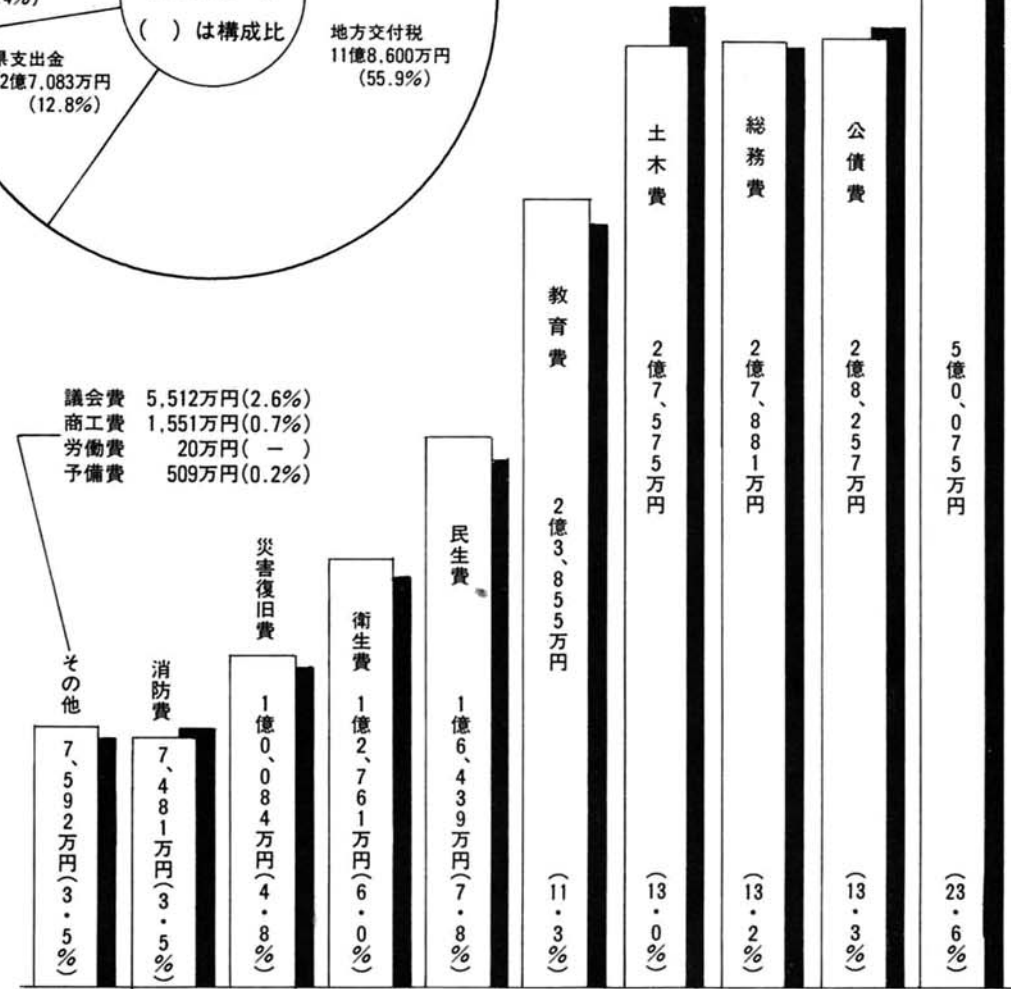
一般会計	21億2,000万円	(+10.8%)
診療所会計	1億1,260万円	(+10.2%)
歯科診療所会計	3,120万円	(+12.6%)
簡易水道会計	1億8,800万円	(新規)
国保会計	2億2,000万円	(+12.2%)
老人保健会計	2億1,412万円	(+0.4%)
会計間繰出による重複分	-6,010万円	
合計	28億2,582万円	(+16.7%)

() は前年度当初予算との比較



歳出

() は構成比



前年度当初予算

自然休養地づくりと産業の振興

農業基盤の整備を図りながら、自然を生かした休養地づくりと特産錦鯉の振興や牛の角突き発展



交流宿泊施設の計画図 S=1:300

に努めます。

新農村地域定住促進対策事業と山間地総合振興対策事業を組み合わせた自然休養地づくりのメインとなる交流宿泊施設の建設をはじめ釣場の造成を行います。

引き続き減少傾向にある、湖牛の飼育頭数を確保するため本年も素牛導入補助や飼育補助を行います。また、地元資源を活用した特産品開発をさらに進めるため、特産加工所の増築や生産機械装置を増設します。

- ・交流宿泊施設建設 五六九㎡
- ・釣場建設 三、〇〇〇㎡
- ・錦鯉越冬施設建設補助
- ・若人交流事業(スキー交歓会等)
- ・菅峠牧場柵設置
- ・ブナ林の保護奨励、購入
- ・産業育成資金貸付
- ・観光案内板設置
- ・四季のやまこしカレンダー作成
- ・観光宣伝広告業務委託

保健・福祉の充実

地域福祉の核となる社会福祉協議会への委託料をはじめ、在宅福祉の充実、ボランティアの育成強化を図ります。また、家庭奉仕員を一名増員し、サービスの充実を図ります。ねたきり老人の衛生用品の給付やベットなど、生活用具の貸出も行います。



▲虫亀地内

村道・農林道の整備

また、車いす用階段昇降機を一台購入し、村民会館に配置するほか、成人病対策として、ワゴン車一台購入し、機動力を生かして各種検診や機能回復訓練の向上に努めます。

- ・高齢者住宅整備資金貸付
- ・老人クラブの方言集編集補助
- ・ゴミ・し尿処理委託
- ・生活排水処理基本計画作成委託
- ・種芋原・虫亀保育所修繕工事

重点施策のひとつである村道整備について、本年度は、中山間地域活性化総合整備事業により、種芋原集落内の村道三線を改良舗装するのをはじめ、農道二線の改良と舗装を計画しました。村道の改良舗装四線、舗装五線の工事を行います。また、維持工事や自営工事費なども計上しました。

林道二線も継続して開設・舗装工事を行ないます。

要望の強い除雪対策も自営・委託などで前年度の予算を計上し、冬期の交通確保を図ります。

■改良及び舗装

- ・種芋原集落内三線、〇五〇m
- ・大野農道改良舗装一、五〇〇m
- ・屋内金農道改良 四五〇m
- ・種芋原中央五号線 (種芋原)
- ・虫亀間内平二号線 (虫亀)
- ・下村中道一号線 (竹沢)
- ・油夫山中線 (油夫)

■舗装

- ・種芋原池之端四号線(種芋原)
- ・中野桂谷線 (〃)
- ・虫亀間内平線 (虫亀)
- ・虫亀間内平六号線 (〃)
- ・虫亀池谷線 (〃)

■村道維持改修工事 二二か所

■農道舗装補助金 二〇〇万円

中学校統合併に伴い、種芋原からの通学を円滑にするため路線バスの運行協力金や通学定期券負担などをを行います。

山古志中学校にコンピュータ二台を導入し、特別教室として普通教室を改造します。また、池谷小学校の通学路に街路灯の設置を計画しました。

いっぽう、社会教育面では新規補助事業により生涯学習基盤整備

その他

事業を予算化しました。

- ・東竹沢小グラウンド整備工事
- ・山古志中体育館屋根塗装工事及び教職員トイレ改修工事
- ・古志高原スキー場運営委託

常備消防負担金をはじめ防火水槽やポンプ積載車、山火事用の背負式消火ポンプなど施設・器具の充実を図ります。

人づくり事業の助成、克雪住宅や修学資金の貸付を行うほか、生活路線バス運行補助や総合計画策定費、村勢要覧作成委託費なども計上しました。

また、本年七月執行予定の参議院議員選挙費なども計上しました。

占志の火まつり関係経費 八五〇万円

バス運行補助金 五八五万円

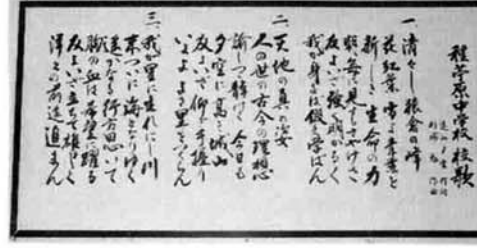
消防施設整備及び器具購入 七九七万円

・国上調査事業 三、五四七万円

村債の返済

今年度は、元金、利子合わせて二億八、二五七万円を返済します。また、今年度新たに借りる村債は一億四、一八〇万円です。四年度末の元金の現在高は一億〇、〇三七万円となる見込で、前年より四〇四三万円の減となります。

2億8,257万円



輝やかしい伝統を残し 種芋原中学校

四十五年の歴史を閉じる



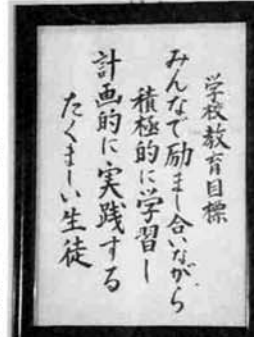
第45回卒業証書授与式

昭和二十二年新しい学制がしかれ、四月三十日種芋原村立中学校が小学校に併設されました。当時の小学校体育館の一部を改装して教室が造られ、そこに先生四人、四学級で一〇〇名の生徒が不便な環境の中で発足したのです。

三十一年町村合併により山古志村立となり、三十四年二月、地区民の勤労奉仕と一部地元負担により待望の新校舎が完成し、三年後の三十六年に体育館が竣工して、現在に至っています。

この間、常に地域文化の中心的役割を担い、輝く数々の伝統を築きながら学区民の心のより所として愛され、発展し続けてきました。

三月十三日多くの関係者に見守られながら、最後の卒業生を送り出して、四十五年の輝く伝統を残し、長い学校の歴史を閉じました。この学舎に学び、数々の想い出を胸に卒業した生徒は一、五八九名となっています。



学校教育目標
みんな励ましながら
積極的に学習し
計画的に実践する
たくましい生徒

昭和22年	24年	26年	31年	34年	37年	41年	43年	44年	48年
新学制スタート 種芋原中学校創立(小学校と併設) 初代校長山屋茂作氏	P.T.A発足 校章を制定	校旗調製 校歌制定 作詞 遠山 夕雲 作曲 杉浦 勉	種芋原小出開バス運行始まる	校舎竣工 ミルク給食開始	体育館竣工 全国造林コンクール林野庁長官賞受賞	県中・村研共催学級活動研究会	参議院議員(文教委員) 学校視察	教員住宅竣工	中越大会男子排球二位 全国大会県予選男子排球二位



▲通知表を受け取る卒業生

のです。このすばらしい学校で学ぶことのできた生徒達ほどの顔も生き生きとしていました。

しかし、年々減少する生徒数と校舎の老化は止めることができず、学区民の万感の思いの中、この卒業式が最後となってしまいました。

「努力は人を裏切らない」努力することにより、すぐ良い結果や成功することは限りません。しかし必ずそのことは人生のどこかに生き役立つことを信じてほしい。

そして三つのC、チャンス、チャレンジ、チェンジ。自分を生かすチャンスには積極的につかむこと。目標を定めたら勇敢にチャレンジすること。意欲的に自分を変え(チェンジ)すること。

厳しい自然と豊かな種芋原で生き育ち、他人を思いやる美しい心の満ちた地で育ち、努力すれば必ず成長すると、そして種中の精神を忘れるなと。

思いを胸に 母校に別れを告げる

三月十五日(日)種芋原中学校の閉校記念式が同校体育館で、生徒をはじめ歴代の校長・田職員や各年度卒業生代表、村関係者や学区民など三〇〇人が出席して行われました。

この式の中で、小幡国作閉校記念会会長は「幾十年も風雨豪雪に耐え、有為な人材を社会に送り出してこれたこの種中が閉校により終止符をうち、その姿が消える寂しさは学区民として筆舌ではとうてい語ることが出来ません。歴史代奉職され多数の生徒を導き下さった諸先生に感謝を込め、奉仕と



▲長谷川くん

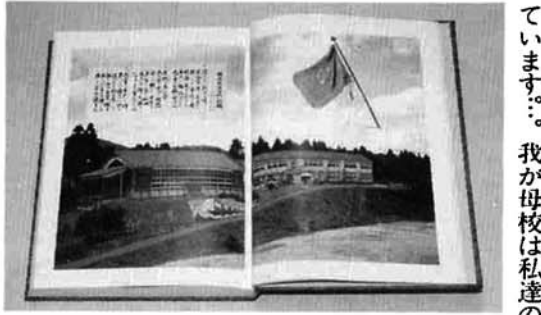
ご苦労された先人を偲び、来る二十一世紀に活躍される若人に素晴らしい伝統と歴史を継承する責任を感し、閉校記念事業として記念誌の刊行や記念碑の建立、記念式典を計画しました。」と事業報告を行いました。



志村立種芋原中学校閉校式
校長は「時代の流れとは言え此の度中学校統合に依り」心のよすが。として来た種芋原中学校が閉校されることは、学区民の皆さんにとって、耐え難い寂しさがあるかと存じます。村政をあずかる責任者として胸が痛みます……。新しい山古志中学校の中に融和し発展を続けることを望んで止みません」と式辞を述べました。



(三年生)は「閉校になることは残念でありませんが、由緒ある種中を誇りに思っています。全校合宿で作ったタイムカプセルを十年後皆さんで開けるのを楽しみにしています。我が母校は私達の胸



▲思い出が綴られた記念誌

49年	50年	52年	53年	54年	56年	58年	61年	平成元年
県総体男子排球三位	中越大会男子排球優勝 女子二位 県総体男子排球三位 BSN音楽コンクール優良賞	県総体男子排球三位	全国大会県予選男子排球二位	全国大会県予選女子排球準々決勝進出	へき地複式教育研究大会	第一回向上レクリエーション大会	校歌作曲者杉浦勉先生来校 新教員宿舎竣工	山古志中学校と統合のため 四十五年の幕を閉じる

(※閉校記念誌より抜粋)

の中で、いつまでもいつまでも生き続けて行くことでしょうか……。と別れの言葉を述べていました。

続いて校旗が収納され、全員で校歌を斉唱。感きわまり目頭を押える人も。その後、校庭の角に建立された「種芋原中学生、ここに学ぶ」と刻まれた記念碑の除幕が行われ、半世紀にわたり輝かしい伝統と歴史を築いてきた種芋原中学校に別れを告げました。

お別れ会が種芋原小学校体育館で開かれ、数年ぶりで再会した先生などと思いを語り合っていました。



★ ★ ★ ★ わが家の スター

詩乃ちゃん ★ ★ ★ ★ わが家の
平成2年2月22日生まれ 佐藤雅俊・絹江さん(長女)
—間内平—

よくたべ、よくねむり、テレビの前で歌って踊ってわが家のミュージカルスターです。最近はお手洗いが得意になり、おかげで目を放すことができません。来客の時などぬいぐるみの紹介からお茶、お菓子と忙しいそうです。



古志高原版ねるとん 六組のカップル誕生!



さる三月一日古志高原スキー場を会場に「古志高原版ねるとん」がSKI・NOW・IN古志高原92実行委員会(委員長五十嵐豊)によって行われました。村内の若者が自ら企画して、十九歳以上の未婚の男女を対象に、「交流の場づくり」を目的に行ったものです。今年で、回目となり、昨年以上の申込みが殺到し、べ切り目を前に、男女各二十人の定員となり、断わるのにひと苦労

していました。当日はあいにくの雨模様の中、村内はもちろん。新潟市、豊栄市などの遠方からも集い、総勢七十八人(男36、女34)と盛り上りました。オープニングは、男性がスキー場で自己PRをして、スキーハウス前に並ぶ女性に向けて滑べり、さかんな声援を受けていました。今度は、男女が向い合って、女性が自己PRをした。チョッピリはずかしそうに顔を見合せ、なかなかの雰囲気。その後はフリータイムとなり、積極的に女性をさそってリフトに乗り込み、アタックを開始してました。十八番の男性は「楽しい企画ありがとう。今日は是非いい友達を見つけて帰りたいと思います。頑張ります」とほりきっていました。カップル選びの結果は、六組のペアが誕生しました。このなかの、組のカップルが、三月七日にもスキー場を訪れて、スキーを楽しんでいました。このきっかけづくりを村内の人からもっと参加していただきたいと実行委員会では話していました。

消防団 竿頭授に輝く

山古志村消防団に去る三月四日消防長官表彰により竿頭授が授与され、東京・日消ホールにおいて川上孫一団長が全国消防団を代表して受領されました。これは、日ごろの防災思想の普及や消防施設の整備をはじめ、災害の防止に関する消防団活動が特に優秀だとして表彰されたものです。また、日本消防協会より川上孫一さんに勳章、榊澤正利さんに精進章がそれぞれ授与されました。今後、より一層のご活躍を期待いたします。

村職員の 人事異動

四月一日付で、村職員の人事異動及び新採用が行われました。(一)は旧所属です。
農業委員会 齊藤末松(税務課)
税務課 星野文孝(農業委員会)
収入役室 佐藤真優美(総務課)
総務課 青木正子(収入役室)
種芋原保育所 小川和(虫亀保育所)
小川美英子(虫亀保育所)
虫亀保育所 星野アヤ子(竹沢保育所)
松田イツ子(竹沢保育所)
竹沢保育所

申告タイムで熱戦 村民スキー大会

3月8日(日) 第6回山古志村民スキー大会が古志高原スキー場で開かれました。当日は天候にも恵まれ、昨年をうまわる80人が参加。小学生男子・女子の部、婦人の部、一般男子の4部に分かれて申告制スキーにチャレンジ。公認指導員の小池正樹さん、西原清七さんの2人がセッとした30旗門の回転コースで技を競い合いました。このレースは速さを競うものでなく、あらかじめ自分の滑降時間を予測申告して、実際の滑降時間との差が少ないほど良い成績となります。

- 以下、成績は次のとおりです。
【小学生男子の部】
①松田勇介 ②関 克史 ③松井富栄 ④高野雄亮
⑤星野泰幸 ⑥松田恭平 ラップ賞 星野雅之
【小学生女子の部】
①星野寛子 ②高橋亜紀 ③長島恵美 ④高野可奈子
⑤松井智美 ⑥小川よしみ ラップ賞 松井智美
【婦人の部】
①松井愛子 ②小川真知子 ③長島世津子 ④倉沢純子
⑤星野清子 ⑥長島紀江子 ラップ賞 松井愛子
【一般男子の部】
①平沢東 ②大塚直樹 ③星野等 ④星野和弘 ⑤大塚富一
⑥川上清吉 ラップ賞 福島正浩

生涯学習情報コーナーNo.3 あらゆる学習の機会を 活用しよう

今回は、「生涯学習にはどう取り組めば良いのか」ということについて簡単にふれてみたいと思います。まず、「生涯学習はどうやったから始められるのか」ということについて考えてみましょう。生涯学習情報No.1で紹介したブギの文に注目していただければすぐお分かりになると思います。生涯学習とは、各人の自発的な意思により、自己の充実・啓発や生活上の向上のため、自己に適した手段・方法で生涯にわたって行う学習を言います。そうすると、生涯学習は、自発的な意思(自分から進んでやろうとする気持ち)さえあれば、だれでも身近なところで始められるのです。ですから、今、皆さんが持っている「絵を習いたい」「スキーを習いたい」「英語を勉強したい」などという気持ちが大切なのだと思います。では、「やりたいことなど何もない」という方は、仕事の上で、親子関係で、地域社会の中で、あるいは、健康、家事、趣味などで困っていること、悩んでいることについて考えてみてはいかがでしょうか。きっと、その中からやりたいことが見つかると思います。つぎに、「身近なところ」ということについて考えてみましょう。みなさんのすぐそばに学習できる所はありませんか。公民館の学級・講座、テレビ・ラジオの教育講座、大学の公開講座、カルチャーセンターの講座などを利用してはどうでしょうか。もっと身近なものとしては、学習の情報源ともいえる本や雑誌の活用をあげることができます。ちなみに、NHKが行った「学習関心調査」(昭和63年)では「実際にどのような方法で学習したか」という問に対して、「本や雑誌」と答えた人が最も多かったそうです。次回は村の社会教育事業について紹介いたします。

健康コラム 今月の担当は 小川保健婦です

竹沢保育所 佐藤美夜子(種芋原保育所)
石原明美(種芋原保育所)
住民課 星野恵治 新採用
建設課 松田 淳 新採用
内科診療所 今井雅廣 新採用
◎退職 小川庄平(種芋原中学校)

心に病をもつ 人たちにも光を

先月号の在宅老人介護特集の中で「事が起こってからの活動」から「寝たきり老人をつくらないこと」つまり予防することが保健婦活動のポイントだと書きました。しかし予防することが難しい心の病を持ったような人々たちへの対応は充分とはいえず、まだまだこれからの状況です。その人たちは現在四九人います。そのうち入院が二人、在宅で生活している人が二八人です。そして半数以上が三〇〜六〇歳の働き盛りの年代です。このことを知ったとき、「えーこんなにいるの」という感じがしました。だって寝

たきり老人が一八人ですから、病気の性質上から隠したががるのに、人数の割に「困った、何とかしてくれ」という声が少ないように思います。それは、私自身が相談を受けてもそれを村の問題として行政に投げかけていくことができず、私の中で、どうにもならない」というあきらめがあり、悩んでいる人たちの声を聴きとれずいたからでしょう。昨年の春から、保健婦二人と長岡保健所の中沢相談員とで、心の病をもつ人とその家族の声を聴こうと訪問を始めました。まだ三分の一しか回っていませんが、そこからわかってきたことは、この先このような人たちがここで暮らしていくことの大変さです。医療費がかかる、働く所がない、親の高齢に伴い兄弟にかかる負担。すでに親はなく帰る所さえないなど。そしてその声を出す所がなかったことです。この問題は保健婦だけで解決できるものではありません。でもこの声を無駄にしない為に、まず同病者とその家族のつどいをもち、「自分だけじゃない」と仲間づくりから始めようと思います。そして、せめてこの人たちが自分なりの生活パターンの中で生きがいをもち地域の中で暮らせるように、一緒に考えていきたいと思います。